



復興事業現地視察

令和元年5月30日(木)

目次



沼館地区津波避難ビル整備事業 / 八戸市津波防災センター	3
津波避難計画	4
小中野公民館防災拠点施設整備事業	5
八戸階上線湊橋歩道拡幅事業（県事業）	6
蕪島エントランス整備事業	7



沼館地区津波避難ビル整備事業



➤ 整備目的

最大クラスの津波発生時に、沼館地区の一部が避難困難地域となり、近傍の津波避難ビルでは避難困難者を収容しきれないことから、津波からの緊急・一時避難施設として「八戸市津波防災センター」を整備しました。平常時は防災活動の場として防災に係る研修等に使用できます。

➤ 施設概要（平成29年5月供用開始）

- ① 建設場所 : 沼館四丁目6-19（敷地面積3,265.14㎡）
- ② 想定収容者数 : 877人
- ③ 構造 : 鉄筋コンクリート造3階建て
- ④ 避難階(2階)床面高さ : 10.96m（浸水深6.96m+余裕高4.0m）
- ⑤ 延床面積 : 約1,500㎡（避難スペース877㎡、その他調理室、備蓄庫等）



➤ 計画概要

2つのレベルの津波を想定し、市民の迅速かつ円滑な避難に資するために必要な避難対象地域、避難場所及び避難路の指定、津波警報等の情報収集・伝達の手順、避難指示の発令等について定めたものです。

L 1 津波

発生頻度が高く大きな被害をもたらす津波

- ・三陸沖北部地震津波 Mw=8.4
- ・H8青森県大平洋側想定地震津波 Mw=8.2

【対策】 人命保護に加え、住民財産の保護、地域経済活動の安定化、効率的な生産拠点の確保の観点から海岸保全施設等を整備

L 2 津波

発生頻度は低いが甚大な被害をもたらす**最大クラスの津波**

- ・H24青森県太平洋側想定地震津波 Mw=9.0

【対策】 住民等の生命を守ることを最優先とし、**住民の避難を軸**にとりうる手段を尽くした総合的な津波対策を確立



小中野公民館防災拠点施設整備事業



➤ 整備目的

小中野公民館及び小中野コミュニティセンターを、従前の社会教育施設としての機能に加え、地震災害等による停電時にも避難所機能を維持し、かつ最大クラスの津波にも対応可能な津波避難ビルとしての機能を備えた防災拠点施設として改築整備しました。

➤ 施設概要（平成26年6月開館）

- ①建設場所 : 小中野五丁目2-17
- ②想定収容者数 : 1,100人（避難スペース 3階・屋上）
- ③構造 : 鉄筋コンクリート造3階建て
- ④避難階(3階)床面高さ : 9.95m（浸水深約5m）
- ⑤延床面積 : 約1,970㎡（避難スペース877㎡、その他調理室、備蓄庫等）





事業概要

- ・整備路線 : 主要地方道八戸階上線(湊橋)
- ・整備内容 : ①橋梁歩道の拡幅
長さ=88m、幅=11.0→16.0m
- ②既存道路への歩道設置(片側)
長さ=51.5m、幅=11.0→13.5m
- ・事業期間 : H24~27年度
- ・事業費 : 約3億5,000万円



整備前

幅=11.0m

整備後

幅=16.0m

車道	@3.0m×2
路肩	@1.0m×2
歩道	@4.0m×2

蕪島エントランス整備事業



➤ 整備目的

東日本大震災によって被災した蕪島地区の整備を図るとともに、三陸復興国立公園の北の玄関口にふさわしい空間を創出することにより、種差海岸への誘客を図るため整備を進めています。

蕪島休憩所（平成27年4月オープン）

蕪島の四季や歴史などを学ぶことができる資料館の役割も担った休憩スペース。館内からはウミネコの生態を間近に観察することができます。

蕪島プロムナード公園（平成30年7月オープン）

蕪島や海が一望でき、美しい景色を見ながらくつろぐことができる公園。園内にはトイレやベンチ、水飲み場等が整備されており、バーベキューを楽しむこともできます。

物産販売施設（令和2年度オープン予定）

蕪島地区のさらなる魅力向上のため、蕪島駐車場敷地内に物産販売施設を整備します。



外観イメージ

内観イメージ



蕪島プロムナード公園

蕪島休憩所